

# 総合教育会議記録

## 1. 日時

令和6年1月24日（水曜日）

午後3時25分開会、午後4時52分閉会

## 2. 場所

条里南庁舎会議室

## 3. 出席者

横手市長 高橋 <sup>だい</sup>大

横手市教育委員会

教育長 伊藤 孝俊

教育委員 二階堂 <sup>まもる</sup>衛

教育委員 佐々木 雅子

教育委員 中村 千寿子

教育委員 加賀谷 長吉

## 4. 説明のため出席したもの

教育総務部長 菊地 浩昭

教育総務部次長兼教育総務課長 佐藤 耕樹

教育総務課主幹 大友 <sup>たかのり</sup>幸憲

文化財保護課長 信太 正樹

図書館課長 高橋 秀明

生涯学習課長 木村 智子

スポーツ振興課長 近江 秀和

Ao-na 開館準備室長 木村 雅美

教育指導部長 岡固 敦

教育指導課長 赤川 美和子

学校教育課長 佐藤 たかのり 隆徳

学校給食課長 遠藤 よしひと 督士

## 5. 事務局

総務課課長代理兼文書法規係長 後藤 光晴

教育総務課教育総務係上席副主幹 おだしま 小田嶋 あけみ

教育総務課教育総務係主査 最上 拓弥

教育総務課教育総務係副主査 多賀谷 あやこ 紋子

## 6. 会議に付した事件

(1) 令和6年度教育行政方針(案)について

(2) その他

## 7. 会議の経過と結果

開会 午後 3 時 2 5 分

### ●後藤総務課長代理兼文書法規係長

ただ今より令和 5 年度横手市総合教育会議を開催する。

この総合教育会議は、平成 2 7 年の地方教育行政法の改正に伴い、設置が規定されたもので、市長と教育委員会により構成されるものである。例年、この会議において、次年度の教育行政方針について、ご意見を頂戴し、まとめている。

終了時間は、午後 5 時を想定しているので、皆さまのご協力をよろしく願います。それでは、開会にあたり、市長からご挨拶を頂戴する。

### ●高橋市長

お疲れ様です。平素、教育委員各位におかれましては、私どもの教育行政全般にわたって、様々な角度から検証ご指導ご指摘をいただき、時代、時期に合った制度設計にご協力いただいていること、心より感謝申し上げます。また少子化の中で、人口当たりの子どもの割合が非常に小さい中であって、彼らがこの地域を、日本を支えるという大事な役目を担うわけだが、困難な時代にあって、少数でこれから来るいろいろな課題を乗り越えていってもらわないと、ゆくゆくは国家が減びてしまうし、我々の地域も減んでしまうわけである。何

とか彼らに強くたくましく成長してもらって、この横手の屋台骨をしっかりと皆で支えるような人材に育ってもらわないと困る。ただ、昨今、多様性という話もあるが、多様性は多様性として認めつつも、やはり一致団結し、ある程度様々な困難に同じ思いを共有して向かっていってもらいたいと思う。については多様性と協調性の両立をしっかりとできるような、私はそういう子たちが次の時代を支えていくのではないかと思っているし、元々民主主義でありながらも共和主義的な日本だと思っている。それは縄文時代からそうなんだと思っているけれども、そういった意味では日本人の特性というものが最大限生きるような視点も、ある意味大事ではないかと思うようになった。なぜ、そのように思うかと申すと、アメリカの分断が激しい。50の州の合衆国だから元々分裂しているのかもしれないし、南北に分かれていた時代もあるので割れているのだろうけれども、今般の大統領選挙、民主党、共和党を見てもそのように思う。20年先30年先、日本の姿は今のアメリカの姿なのかと思う。イギリスの哲学者ベンサムが最大多数の最大幸福と言うか、利己主義、功利主義というか、そのようなことが正しい生き方だと言っている。150年経って、若い人の言葉からも、タイパ、コスパというような、それを重視するということで、無駄を省くことが言われている。それはそれで、経済合理的にはいいだろうけれども、それだけが生きる道ではないだろうと思ったりも

する。ですが、アメリカ人の中ではそういう生き方が正しいと教えられている人もいるだろうし、また、マズローの5段階欲求のような、生理的欲求、安全欲求、社会的欲求、承認欲求とか、最後は自己実現みたいな形で、一番上の自己実現を欲求にする人がエリート、素晴らしい成功する道なんだというものが流行ったような気がする。それに反発している人たちもいる。多分日本は、いずれ分断しやすいような新しい発想、考えというものを取り入れてしまう。多分、どんどん日本人は分断していくと思う。その先にあるものがどうなのか、私は心配している。ヨーロッパなどは騎士道で、多分日本の教育も、武士道を規範としたり、論語とそろばんのような商業道德というものが規範だったのかもしれないけれども、今はまるっきり変わってしまっている。武士道とか、論語とそろばんなどと言っても、多分全く響かないかと思う。響く子がいるのだろうかと思う。だからこそ、急遽お札を渋沢栄一氏に変えて、国を憂えてのお札の変更なのかと思ったりもする。それだけ世の中も激変だし、日本人そのものも激変だし、そして圧倒的8割5部、9割5部の大多数の大人対ごく少数の子供という世代間の分断とか、貧富の差の分断とか、地方と都市の分断とか、男と女の分断とか、いろんな分断の知識が教育されて、どうなってしまうのだろうかというような心配があって、「こうすればいいですよ」という明確なものを自信満々に唱えてお知らせをしているという媒体がテレ

ビヤネットからは聞こえてこないような気がして、どこに正しい道はあるのだろうということも分かりづらくなってきて、自信を持って言える親御さんはいるのかなと思ったりしている。それだけ、私は今、これから先、その先、どうあればいいのかを導き出すのが難しい時代になっていくのだろうというふうに思う。長くなったが、私などは古い人間で保守的なので、過去の人、今の人、未来の人と対話した中で導き出したのが保守的な民主主義と言うか、過去何千年の知恵、やはりプラトン、ソクラテスとか、孔子とか孟子とか荘子とか、2500年くらい経っているのですけれども、どの時代の人も共有できる正しい真理というものが古典にはあるのではないかと思っている。でも、いろいろな市民それぞれ角度が違えば、考えも違う意見がある中で、私の意見は絶対ではないけれども、なるべく将来の憂いが無いような教育をどう作りあげていくかというのは、今を生きる大人の力の見せ所なのだと思う。混沌の昨今だからこそ、より一層問われると思う今日この頃だ。大変長くなったけれども、今日もよろしくお願ひ申し上げます。

#### ●後藤総務課長代理兼文書法規係長

ありがとうございました。続きまして、教育長からご挨拶を頂戴する。教育長よろしくお願ひする。

#### ●伊藤教育長

日頃から市長とはいろいろとお話する機会をいただいているものの、教育委員会の各課長が相集って、教育委員の皆さんとともに、市長の思い、考えをお聞きする機会というのは滅多にあるものではない。この総合教育会議は、そもそも教育委員会が単独で走りすぎない、市の政策実現をしっかりと実現できる、そういう機関として、機能してやっていきたいと思いますというのがそもそも改変の意図であったので、そういった意味で、市長のこれから目指そうとしているまちづくりも含めて、様々なご意見をいただきながら、その具現化を教育委員会としてどのように寄与していくのか、力添えができるのか、そういったことを皆さんで考える一つのきっかけにしたいと考える。今日は大変短い時間だが、新年度の教育行政方針をお話をする中で、様々な思いを巡らせることが出来、また各課の新年度の方向性を課長自らがしっかりイメージできるように、会議の充実を図ってまいりたいと思うので、何卒よろしく願います。

### ●後藤総務課長代理兼文書法規係長

ありがとうございました。それでは、次第に沿って進める。議題の進行については、教育総務部長に願います。

#### (1) 令和6年度教育行政方針（案）について

#### (2) その他

### ●菊地教育総務部長

それでは早速だが2番の議題に入らせていただく。令和6年度教育行政方針案についてを議題とする。説明をお願いします。

### ●佐藤教育総務部次長兼教育総務課長

それでは私の方から説明申し上げます。令和3年3月に策定した教育ビジョンをもとに、ビジョンに沿った事業を展開していくにあたって、毎年、教育行政方針において主な実施事業をまとめている。お手元に配付している横手市議会定例会令和6年度教育行政方針案をご覧ください。

【以下、[議題(1)資料]を基に説明】

### ●菊地教育総務部長

6年度の教育行政方針案について説明をいただいた。この方針についてこれから進めてまいりたいと考えているところだが、この内容について、まずは教育委員の皆様からご意見をいただきたいと思う。教育委員の皆様から、この内容についてお聞きしたいこと、ご意見等あったらよろしくをお願いします。佐々木委員をお願いします。

### ●佐々木教育委員

質問ではないが、11ページ下段のコミュニティ・スクールについて伺う。コミュニティ・スクール、これは大変意義のある取り組みだと思っている。その活動することによって地域もまた成長するものではないかと考えるが、地域コーディネーターについて、その役割を担



うご本人と学校側でとらえ方のずれがあり、活動に難儀しているとい  
うようなことを、昨年耳にしたことがある。この方針書のコミュニテ  
ィ・スクールの後段に、今後再確認する方針であるということの記載  
があったので、大変安心している。これからもうまく流れるように頑  
張って行ってほしいと思う。

### ●菊地教育総務部長

ありがとうございます。こちらについて説明などあるか。

### ●木村生涯学習課長

委員からいただいたご意見、大変ありがとうございます。こちらの  
地域コーディネーターの現状ということで、私どもも生涯学習課とし  
て、これからどのように進めていったらいいかということをお話し合っ  
ている。来年度はぜひとも活動しやすい環境づくりということで力を  
入れていきたいと思うので、これからもご指導よろしく願います。

### ●菊地教育総務部長

佐々木委員、ありがとうございました。他にご質問ご意見等あつた  
ら願います。二階堂委員、願います。

### ●二階堂教育委員

一つとして、3ページにあるタブレット端末のデジタルコンテンツ  
を大きく映す大型掲示装置などICTの活用、これを市内外の学校や  
企業との交流、発信の場を設けるということが記載されているが、年

明け早々というか、お正月早々、石川県での200人を超す犠牲が出た、ああいう災害もあるので、県内にこだわらず県外の、特にこの石川県だとか、そういう災害に見舞われたところの学校との交流だとか、そういうものがあれば、やはり当市における防災教育につながっていくのではないかと思っているので、そういう機会がもし、できるのであれば、少し進めていくというような考えを持っていただきたいというのが一点である。

### ●菊地教育総務部長

ありがとうございます。ICT環境整備における防災教育に関して、よろしく願います。

### ●赤川教育指導課長

貴重なご意見を頂戴してありがとうございます。石川県とは、まだつながってはいないけれども、これまでのことでご報告させていただくが、例えば醍醐小学校は、現在の6年生が、宮城県にある七ヶ浜町、東日本大震災に見舞われた地区の人々との交流を4年生の時から継続している。学校との交流ではないが、高齢者の方々が主となるが、そちらの方との交流をつなげていて、令和5年度修学旅行の際には、初めてその町の方々と実際に対面をして、感動の再会を果たしている。授業では、ビデオ通話を通じた授業を行っている。令和5年度からは醍醐小学校の6年生だけではなく、5年生の児童も交流を共に

行っているところである。また、七ヶ浜町で震災でお亡くなりになったひとりのお子さんがいて、そのお子さんが好きだった花を七ヶ浜町からもらってきて、醍醐小学校の花壇に植えながらの交流というものをしている。今後、他の学校にも波及して、防災計画の観点からも多方面の町とつながっていくことを促している。

### ●菊地教育総務部長

よろしいか。

### ●二階堂教育委員

最後に醍醐以外でもそういうことを広げていければということなので、その方向で進んでいただければということである。学校訪問等で特に公式な場でない、ちょっと休憩時間での教育長なり、学校の先生なりとのお話でちょっと気になることだが、家庭教育という、家庭に対する学校との関わり方というものが、ちょっと心に引っかかったものがある。現在こういう問題を抱えているお子さんの家庭の中ではこういう問題がありますよ、とか、いろいろお話伺うのだが、そうであればここで言うところの4ページの、「特別支援教育につきまして」という文面があるが、言葉が柔らかく大変いいかと思うが、できれば、後ろの方にもある、12ページ「教育の原点は家庭にある」と記載しているので、親の教育という観点をもっと言葉として表したものがあれば、なおいいのではないかという印象を持っている。

### ●菊地教育総務部長

親の教育の観点を言葉で表すことができないかというような質問だと思うが、その点いかがか。

### ●赤川教育指導課長

特別支援教育の観点から記載させていただくと、主語が児童生徒である。ご家庭への教育というよりも、主として。

### ●二階堂教育委員

いや、今言ったのはわかるけれども、もう明らかに無理なんだからという場合がある。でも、親がどうしても普通の子と一緒にという方向性を言うので、なかなかそこまで強く指導することができない問題もあるかと思う。なので、そういうふうに申し上げたところである。

### ●赤川教育指導課長

そういったご意見も踏まえながら検討させていただく。

### ●菊地教育総務部長

よろしいか。

### ●二階堂教育委員

続けていいか。14、15ページ「よこての伝統文化の継承と再発見」のところで、最初の市長の言葉にもあったが、これから少子化がますます進んでいく中で、やはりこういう伝統文化を継承していくと

いうことは、大変難しい面がこれからますます増えていく時代を迎えているので、学校の協力、地域の協力というものは、これからなくてはならないものだと思っている。だが、今度はその学校を超えた、例えば何とか小学校の隣にある何とか小学校にもお声掛けをして、こちらにある伝統文化の継承に対して協力をしていくような、エリアを超えたような、学校区を越えた協力体制というものもこれからは必要になってくるのではないかと思っている。実際に、児童生徒が減少していく中で、何をやるにしても小規模化、もしくは消滅化につながっていくだろうと思っているので、これからは、せっかくこの横手市という枠があるわけなので、学校を超えた地域を超えた協力体制へも目を向けていくというような考えを持っていかなければいけないと思っているので、今回はこのような文面でいいかと思うが、次、その次というものであれば、そういう考えを私達は持っていかなければいけない時代にも入っていると思う。なので、そういうところをもっと着目してもらいたいというところなのでよろしく願います。

### ●菊地教育総務部長

伝統文化の継承の部分で、学校区を越えてという意味である。承知した。その点については今後考慮していきたいと思っている。他にご意見あるか。加賀谷委員。

### ●加賀谷教育委員

私からは2点。まず5ページのいじめ対策だが、複数の人間が集まるところには必ず「不」というものがついてまわる。不平等、不公平、不平不満といった、「不」が付いてまわる。ということ踏まえながら、せつかく北中学区がモデル校に指定されているのであれば、言葉に書かれてある、この文言よりも、実際はもっと強い態度でいじめ対策に臨んでいただければという気がしている。どうしても簡単な言葉というか、そういう平面的な言葉になってしまうかもしれないが、これまで以上にもっと厳しい態度で、せつかくのモデル校なので、他に範を示すように臨んでいただければという気がしている。それが一点だ。

#### ●菊地教育総務部長

お願いします。

#### ●赤川教育指導課長

加賀谷委員が発言されたとおりに、生徒自身がいじめはいけないという厳しい態度を示しながら、他校に波及していけるような事業にしていきたいと思う。

#### ●加賀谷教育委員

もう1点いいか。5ページから6ページの、部活動の地域移行、これについてだが、このコーディネーターに関して、対象者というか、例えば資格であったり、年齢であったり、それから個人の経歴であつ

たり、ということが相当加味されてくるのではないのかという気がしているけれども、その選定というか、そういうのはどういう基準で選ばれるのか。

### ●伊藤教育長

スポーツ協会、それからスポーツ振興課のそれぞれの担当者を明確にししながら、指導課も協力しながら、具体的な組織を立ち上げたいと思う。ただ、市長とも話しているが、必ずしも国の方向性だとか県の方向性と一致するような形でできるかどうかについては、横手市なりに検討を加えて、横手市に合うような形にしたいと思っている。あまり無理せず、長く持続可能な形で、どうしたらできるのかというあたりを議論していきたいと考えている。

### ●加賀谷教育委員

中学生であれば、やっぱりどうしてもその先を狙って、私はバレーしか知らないのだが、「わか杉カップ」などは最たるものなのかという気がしている。どうしても前のめりという感じになってしまう、ならざるを得ないのかと、老婆心ながら、そういう気がしている。

### ●伊藤教育長

運動部に限らず、文化部も含めてなので、いわゆる軽く活動参加することで、自分の趣味の領域を広げたいと考える子もいれば、より専門的にもしくは将来的にその道を極めたいと考える子もいる。程度の

差は非常に大きいものがあるので、地域移行に関しての基本的な考え方のスタンスとしては、どの子どもその子の要望に合った形で活動できる体制は如何なるものかということが目的の大きなものであるので、競技によっては頑張るぞという競技もあれば、穏やかに緩やかに趣味の範囲を超えない程度に頑張るといふ団体があってもいいだろうし、その辺を含めて議論、協議をしていかなければいけないだろうと考えている。私自身も、個人的には、ある特別な団体についてはやっぱり頑張れという思いも、もちろん出てくるだろうし、ある別の団体においては緩やかに頑張らましようという場合もあり得るのだろうというふうに考えている。いろいろ、また参考のご意見をいただければと思う。

### ●菊地教育総務部長

ご意見ありがとうございました。他にご意見あったらお願いします。

中村委員、お願いします。

### ●中村教育委員

13、14ページの読書活動の充実についてだが、子育てしている立場から言うと、やはりタブレットの学習が増えてきて簡単に調べものが出来てしまうというところで、本で何かを調べるという姿をあまり見なくなってしまったのが事実で、図書館に行って調べものをして学習することはすごくいいことだと思うのだが、家にいてタブレット



があれば何でも分かってしまうということで、そののところ便利だけれども、調べれば分かるけど、頭に入らないというか、記憶に残らないというか、その時だけで終わってしまうようなところをすごく感じてしまって、それは、大人たちもそういう状況で、せつかくこんなに図書館もあるし、学校にも図書室があり、本も充実しているというのは、すごくもったいないことだと思うので、あえて本で調べものをするというような指導がもっとあってもいいのではないかと感じている。

#### ●菊地教育総務部長

図書館課長。

#### ●高橋図書館課長

委員から大変力強い、いいお言葉をいただいてありがとうございます。今回、13ページの(3)の読書活動の充実というのは、昨年まで図書館の充実という項目だった。教育長から、図書館だけの充実ではなくて、読書活動を充実させようということで、タイトルを変えさせてもらっている。こちらに入っているとおり、第1次横手市読書活動推進計画というものの内容については、来年度4月から施行になるものだが、図書館内に来てもらおうということだけではなくて、家庭での読書活動を推進していくことが書かれて、「うちどく」という言葉を使わせてもらっているが、こちらの言葉を非常に強く、今回書かせて

もらっている。しかもその計画の中には、子供だけではなくて大人も含めた読書活動、そして子供に関しても学校と連携しながら、学校図書と市立図書館の充実というものも書かせてもらっている。これについてはいろいろと学校図書とも連携させてもらいながらやっていこうということでの計画を今回つくらせてもらったので、しっかりと今の言葉をいただいて、やっていきたいと思うし、今委員からもあったけれども、図書館でいろいろ調べるというのはまさに令和6年度から横手市で図書館を使った調べるコンクールというものに参加することになったので、そういうものでもいろいろ子供たちにもそれに参加してもらえるような仕組みをつくっていこうと思っている。どうか、よろしく願います。

#### ●菊地教育総務部長

中村委員、ありがとうございました。他にご意見等あるか。

#### ●赤川教育指導課長

学校教育の観点から補足させていただく。学校においては、図書の良さ、タブレットの良さを感じながら、両者の特徴を知り活用していただくことで、両者の良さに気づかせたいと思う。この場合は自分は図書を使う、この場合はタブレットを使うということ、自分で方法を選択できるところまで学校教育において徹底したいと思う。そのことが自ら学ぶ姿につながることを願って努めていく。

### ●菊地教育総務部長

他にあるか。佐々木委員、お願いします。

### ●佐々木教育委員

2 ページ。教育指導の充実という項目だが、「言語活動の充実」で、更には最近加えて「自ら学ぶ子ども」ということの重要性というか、進化しているところを学校訪問を重ねて見てきた。そこで、それはそうだよなと自分なりに納得した気持ちがあった。その中段のところに、これまでのような画一的な教育を改善し、という文言が一つ入っている。これを改善する、という表し方だと、私は前向きな意味もあるかとは思いますが、印象としては良くないものを良いように改めるような感じがすごくするので、これまでのやってきたことを高評価して、更に、何か進化するような表現をここでできないのかと感じた。やってきたことを大きくアピールした方がいいと思う。

### ●菊地教育総務部長

その点に関して、いかがか。

### ●赤川教育指導課長

うれしいお言葉をいただいて、ありがとうございました。より一層良くしていく、というニュアンスが伝わるような文言に替えさせていただく。

### ●菊地教育総務部長

佐々木委員、ありがとうございました。他にご意見等ありましたら  
願います。二階堂委員、願います。

### ●二階堂教育委員

今の佐々木さんのご意見の関連というか、これまでのような画一的  
な、ということだと後ろ向きな感じが随分印象的なんですけど、簡単  
に言えば、「いわゆる画一的な」、そういう言い回しだったらいいのか  
なというふうにも思うけれども、あとここずっと見ると、「目指してま  
いります」とか「深めてまいります」とか、そうなんだという想像は  
ありますが、「これを実現してまいります」とか、そういう一步踏み込  
んだ表現もあった方がいいのではないかと思っているが、いかがか。

### ●赤川教育指導課長

言葉の表現について、この後変更しながら、より実現できるように  
努めていく。

### ●菊地教育総務部長

ありがとうございました。他にあるか。いいですか。そうすると、  
今回のこの教育行政方針案について、これまでの委員からのご意見な  
どを踏まえて、市長からご意見をいただければと思う。よろしく願  
います。

### ●高橋市長

改革していく意気込みが伝わってきて、また、今の時代に文明の利器も交えながらやろうとしている。多分、これをやってどういう成果、効果が出るかはこの後ということで、手探りでやる部分もあるだろうけど、やらないことにはどういう反応が出てくるのか分からないので、いろいろとチャレンジしていく来年度になるかと思うし、いろいろと多岐にわたるので、現場の先生方、非常に大変だと思うし、いきなり「全部これを」とか言われると、いっぱいいっぱいになってしまふ先生もいるかもしれないけど、この方針を実現する現場のフォローもしっかりしてもらって、何とかお願いしたいと思う。いろんな種類の家庭といろんな種類の子どもがい過ぎて大変だと思う。なので、子供が少ないから、一人ひとりオーダーメイドでも可能なのだろうけど、いろいろ参ってしまわないように、先生方にはご尽力いただきたいと思う。

最後に、情報過多で、玉石混交だし、偽物と本物が入り混じっているし、惑わされる。惑わそうとしている意図も感じる部分もあるし、それを見抜いて、これは不必要とまではいかないにしても、そういう選択できる能力というものは今まで以上に問われるし、ほぼ多数は間違った方に引き寄せられる。よく相場の格言で、大衆は常に間違っている、という格言がある。それは昔からの格言で、大衆は常に間違っていると。でも、相場の世界は大衆が常に間違っていないとプロが勝

てない。要は同じ情報を見ている、情報の捉え方が違っていて間違ってしまう。ただ間違った認識ぐらいだったらいいのだが、損してしまうとか、被害に遭ってしまうとか、誰かを殺めてしまうとか、攻撃してしまうとか、そうになってしまうとまずい。図書館の本の範囲だといいいが、ネットだと、その何万倍だ。検索する単語で拾える情報を図書館でいうと、くたびれる。要はそういう情報を獲得する困難さというものを体で体感できるではないか。あと、その情報を、知識を積み上げるまでの苦労というのは、本で感じられるではないか。だが、いとも簡単だと、この情報をつくり上げるまでにどれぐらい苦労があったのかという、温度、速度が感じづらい。だから、それをデジタル全盛の時代だからこそ、ある意味、体感で知ることができる部分を増やさないといけない。飛行機で行くと距離感がわからないけど、バイクで行くと距離感を感じる。要は手っ取り早く一番良い情報に、いわゆるタイパが良い、コスパもいいけれども、そこに行き着く苦労とか、人としての情操が育まれづらいと思う。いとも簡単にいろいろ手に入ってしまって、有難みを感じない。たぶん、有難みはだんだん感じないようになるのだろう。有難いと感じない人は不幸せだ。だって、当たり前だから。何もかも当然あって当たり前なので、その状態に感謝は生まれえないから。よほど強い刺激的な有難さをいただかないと、「私は幸せ」と思えないだろう。あまりにも、いとも簡単にいろん

な満足を苦勞なく得られる時代になってしまいすぎて、英語でもいとも簡単に訳されてしまう。最初、言葉も通じない段階で辞書を作った人は大変だったんだろうなどと思わない。だから、あまり人の痛みとか人の苦勞とか分からないまま、恩恵だけ簡単にいただけてしまうということが増えすぎてしまうと、いつ感謝するのだろうと思う。そこが、横手の子だけではなく心配である。そういう私の勝手な憂いとは関係なく、現場の先生方はうまく伝えていくのだろうけれども、あまり凄すぎる賢い人を育てるより、人として血の通った人間になってもらいたいというのが大前提の基礎ベースにあって、そこから新しいいろんな技術だと思うので、いくら能力が際立って優れていても、血の通わない人だとちょっと残念である。基礎ベースにある土台はもっとスマートじゃない人間味あふれる、痛みもわかる、分かち合う気持ちもあるなど、人としての大前提があった上での教育行政方針があるのだろうけど、それは全員が肝に銘じてやっていかないと、だんだん無機質な人間が増えてきてしまうと思ってしまうので、どうかよろしく願います。

### ●菊地教育総務部長

今回いただいた市長のご意見、また教育委員の皆様からいただいたご意見を活かしながら、今後の事業に反映するように進めたいと思う。また一部文言の修正等も検討しながら、教育行政方針案を作成し

たいと思うので、今後とも何卒よろしくお願いする。それでは、教育行政方針案についてはこれで終わりたいと思う。

議題の（２）その他だが、特に案件はないが、皆様方から何かあるか。無いようなので、ここままで進行のほうを総務課にバトンタッチしたいと思う。お願いする。

●**後藤総務課長代理兼文書法規係長**

ありがとうございました。予定していた案件の協議は終了したので、以上で、令和５年度横手市総合教育会議を終了する。お疲れ様でした。

閉会 午後４時５２分